

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成25年9月26日 (2013.9.26)

【公開番号】特開2013-135918(P2013-135918A)
 【公開日】平成25年7月11日 (2013.7.11)
 【年通号数】公開・登録公報2013-037
 【出願番号】特願2013-46628(P2013-46628)
 【国際特許分類】

A 4 7 K 3/12 (2006.01)

A 4 7 K 3/02 (2006.01)

E 0 4 F 11/18 (2006.01)

【 F I 】

A 4 7 K 3/12

A 4 7 K 3/02

E 0 4 F 11/18

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月8日 (2013.8.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

浴槽の側壁の上端部に配置され、手摺りが設けられた本体具と、前記浴槽の前記側壁の一方の側面に対向配置して前記本体具の一方の側部に形成された側片と、この側片の内側に設けられた押圧板と、前記側片に設けられ、前記押圧板を前記側片に近接離反する方向に移動させる操作を行う操作ハンドルと、前記本体具の前記側片と反対側の側部に設けられ、前記押圧板に近接離反する方向にスライドして移動自在な押圧受け具と、前記押圧板に対向して前記押圧受け具に設けられた押圧受け板と、前記押圧受け具をスライド移動させた箇所に解除自在に固定する固定・解除手段とを備え、前記押圧受け具は、前記押圧板の移動方向と平行な方向にスライド自在に配置されるスライド片を備えて形成され、前記固定・解除手段は、前記スライド片にそのスライド方向に沿って複数形成された係合溝と、前記係合溝に係合・離脱自在なラッチ具とを備えてなることを特徴とする浴槽用手摺り。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

本発明に係る浴槽用手摺りは、浴槽の側壁の上端部に配置され、手摺りが設けられた本体具と、前記浴槽の前記側壁の一方の側面に対向配置して前記本体具の一方の側部に形成された側片と、この側片の内側に設けられた押圧板と、前記側片に設けられ、前記押圧板を前記側片に近接離反する方向に移動させる操作を行う操作ハンドルと、前記本体具の前記側片と反対側の側部に設けられ、前記押圧板に近接離反する方向にスライドして移動自在な押圧受け具と、前記押圧板に対向して前記押圧受け具に設けられた押圧受け板と、前記押圧受け具をスライド移動させた箇所に解除自在に固定する固定・解除手段とを備え、

前記押圧受け具は、前記押圧板の移動方向と平行な方向にスライド自在に配置されるスライド片を備えて形成され、前記固定・解除手段は、前記スライド片にそのスライド方向に沿って複数形成された係合溝と、前記係合溝に係合・離脱自在なラッチ具とを備えてなることを特徴とするものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

本発明は、一つの操作ハンドルで浴槽の側壁への取り付けや取り外しを行うので、浴槽の側壁への取り付けや取り外しの操作の手間を少なくすることができるものである。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】